

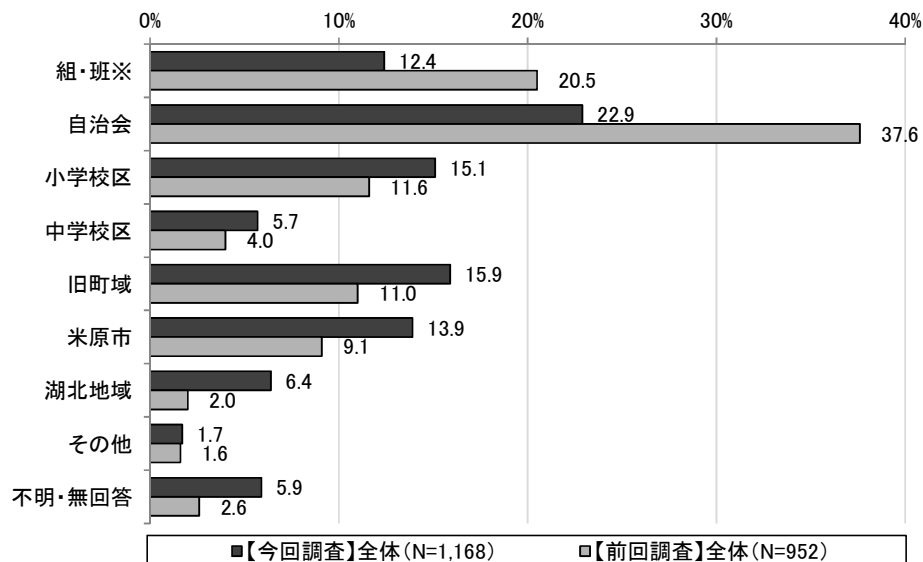
平成 30 年3月「第2次まいばら福祉のまちづくり計画」策定のための
アンケート調査結果報告書【抜粋】

調査対象者	20 歳以上の市民 1,995 人の方を無作為に抽出
調査期間	平成 29 年 11 月 3 日～平成 29 年 11 月 17 日
調査方法	郵送配布・郵送回収による郵送調査方法
配布数	1,995 件
有効回収数	1,168 件
有効回収率	58.5%

「身近な地域」とは

問 9 あなたにとって「身近な地域」とはどの程度の範囲ですか。(1 つに○)

■前回調査との経年比較



■身近な地域の範囲（年齢別）

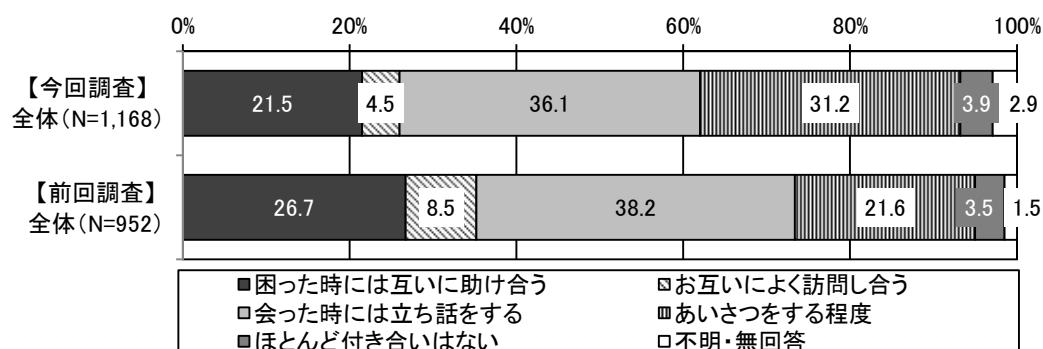
年齢別にみると、『20 歳代』では「米原市」、『30 歳代』『40 歳代』では「小学校区」、50 歳代以上では「自治会」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%			組・班	自治会	小学校区	中学校区	旧町域	米原市	湖北地域	その他	不明・無回答
年 齢 別	全体	N=1,168	145 12.4	268 22.9	176 15.1	67 5.7	186 15.9	162 13.9	75 6.4	20 1.7	69 5.9
	20歳代	N=76	1 1.3	7 9.2	16 21.1	13 17.1	9 11.8	17 22.4	11 14.5	2 2.6	— —
	30歳代	N=113	10 8.8	11 9.7	30 26.5	10 8.8	19 16.8	21 18.6	9 8.0	3 2.7	— —
	40歳代	N=138	16 11.6	22 15.9	33 23.9	15 10.9	15 10.9	18 13.0	15 10.9	2 1.4	2 1.4
	50歳代	N=180	16 8.9	48 26.7	34 18.9	11 6.1	30 16.7	23 12.8	14 7.8	3 1.7	1 0.6
	60歳代	N=228	36 15.8	66 28.9	25 11.0	8 3.5	43 18.9	30 13.2	10 4.4	4 1.8	6 2.6
	70歳代	N=212	28 13.2	61 28.8	23 10.8	9 4.2	37 17.5	30 14.2	7 3.3	3 1.4	14 6.6
	80歳代	N=152	31 20.4	38 25.0	12 7.9	— —	26 17.1	20 13.2	5 3.3	3 2.0	17 11.2
	90歳以上	N=39	7 17.9	14 35.9	3 7.7	1 2.6	7 17.9	2 5.1	3 7.7	— —	2 5.1
	不明・無回答	N=30	— —	1 3.3	— —	— —	— —	1 3.3	1 3.3	— —	27 90.0

近所づきあいの程度

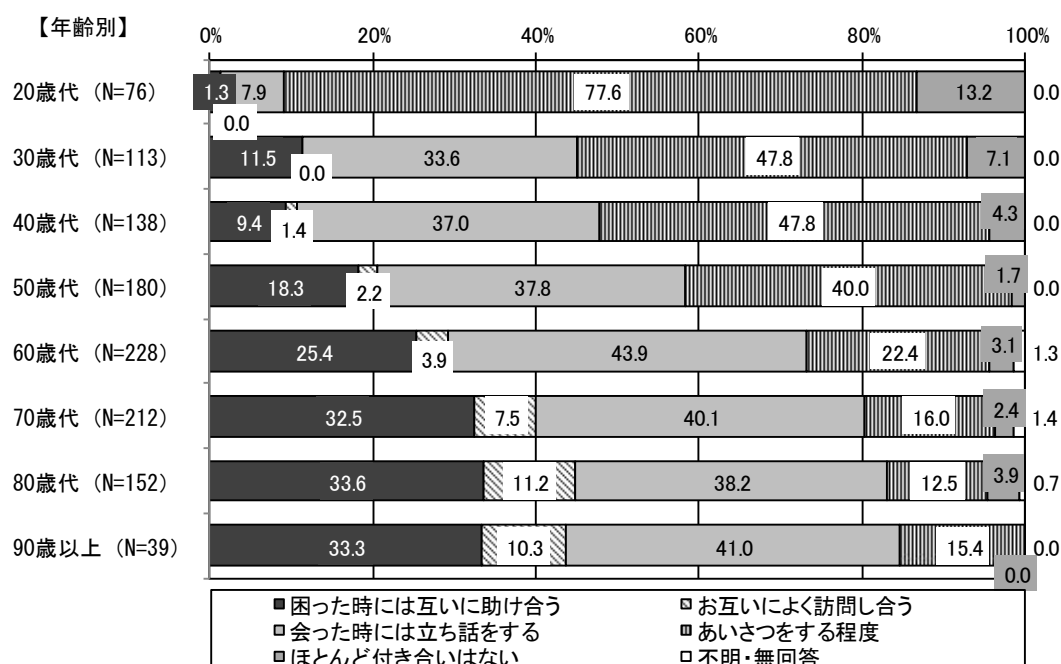
問 10 あなたは、ご近所とのお付き合いをどの程度していますか。（1つに○）

■前回調査との経年比較



■近所付き合いの程度（年齢別）

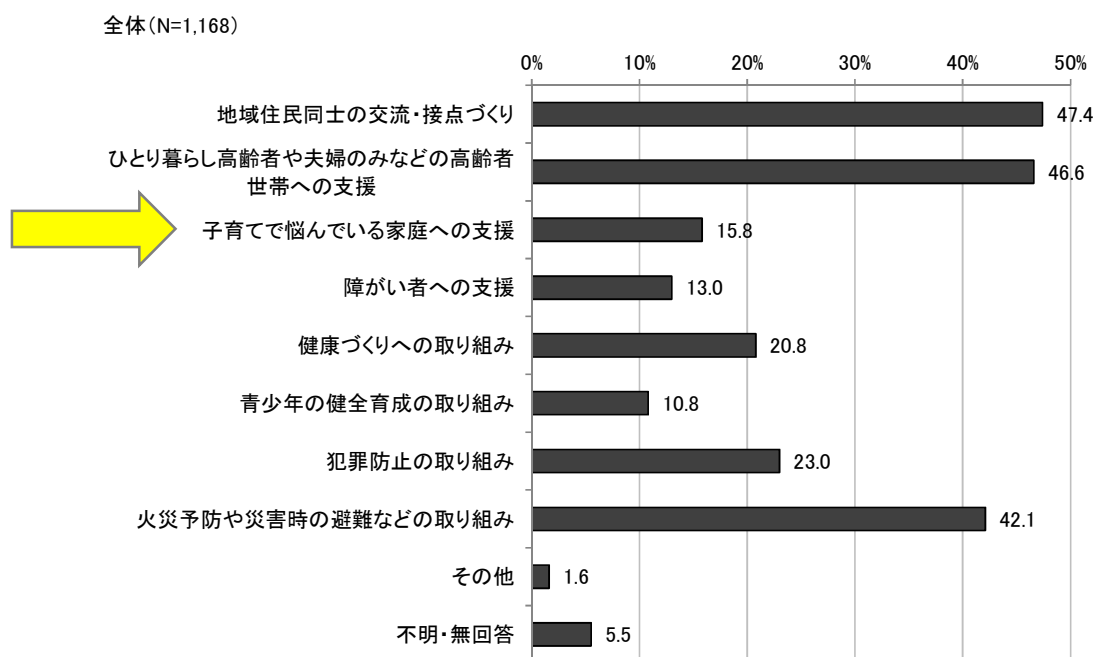
年齢別にみると、年齢に比例して「困った時には互いに助け合う」「お互いによく訪問し合う」が高くなる傾向にあります。



地域で協力して取り組む問題

問 12 地域の人たちが協力して取り組んでいくことが必要な問題は、次のうちどれだと思いますか。
(3つまで○)

地域の人との協力による必要な取り組みについてみると、「地域住民同士の交流・接点づくり」が47.4%、「ひとり暮らし高齢者や夫婦のみなどの高齢者世帯への支援」が46.6%、「火災予防や災害時の避難などの取り組み」が42.1%と続いています。



■地域の人たちが協力して取り組んでいくことが必要な問題（年齢別）

年齢別にみると、『20歳代』『30歳代』『40歳代』では「火災予防や災害時の避難などの取り組み」、『50歳代』『60歳代』では「ひとり暮らし高齢者や夫婦のみなどの高齢者世帯への支援」、70歳代以上では「地域住民同士の交流・接点づくり」が高くなっています。

上段:件数 下段:%			地域住民同士の交流・接点づくり	ひとり暮らし高齢者や夫婦のみなどの高齢者世帯への支援	子育てで悩んでいる家庭への支援	障がい者への支援	健康づくりへの取り組み	青少年の健全育成の取り組み	犯罪防止の取り組み	火災予防や災害時の避難などの取り組み	その他	不明・無回答
年齢別	全体	N=1,168	554 47.4	544 46.6	184 15.8	152 13.0	243 20.8	126 10.8	269 23.0	492 42.1	19 1.6	64 5.5
	20歳代	N=76	21 27.6	28 36.8	32 42.1	17 22.4	16 21.1	7 9.2	22 28.9	33 43.4	1 1.3	1 1.3
	30歳代	N=113	40 35.4	36 31.9	37 32.7	14 12.4	10 8.8	16 14.2	41 36.3	60 53.1	2 1.8	3 2.7
	40歳代	N=138	54 39.1	59 42.8	27 19.6	15 10.9	9 6.5	26 18.8	50 36.2	74 53.6	2 1.4	3 2.2
	50歳代	N=180	76 42.2	100 55.6	30 16.7	28 15.6	23 12.8	22 12.2	50 27.8	92 51.1	4 2.2	2 1.1
	60歳代	N=228	121 53.1	126 55.3	25 11.0	25 11.0	56 24.6	23 10.1	50 21.9	107 46.9	6 2.6	6 2.6
	70歳代	N=212	128 60.4	97 45.8	19 9.0	25 11.8	79 37.3	23 10.8	36 17.0	72 34.0	2 0.9	14 6.6
	80歳代	N=152	86 56.6	79 52.0	12 7.9	26 17.1	46 30.3	9 5.9	14 9.2	42 27.6	1 0.7	6 3.9
	90歳以上	N=39	26 66.7	18 46.2	2 5.1	1 2.6	4 10.3	-	6 15.4	11 28.2	1 2.6	2 5.1
	不明・無回答	N=30	2 6.7	1 3.3	-	1 3.3	-	-	-	1 3.3	-	27 90.0

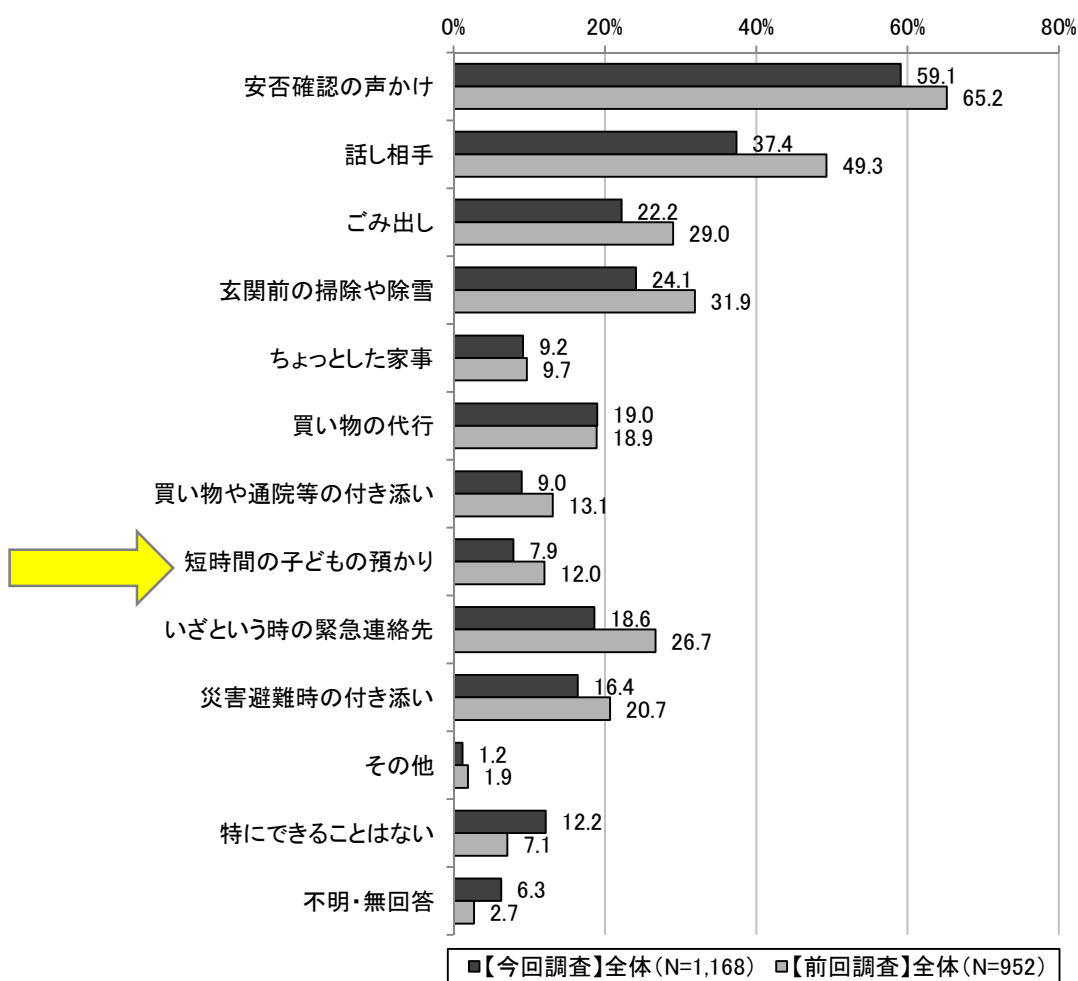
近所で困っている人に対してできること

問 16 あなたは、ご近所に困っている人がいる時、どのようなことができますか。（あてはまるものすべてに○）

困っている人がいる時、できることについてみると、「安否確認の声かけ」が 59.1%、「話し相手」が 37.4%、「玄関前の掃除や除雪」が 24.1%と続いています。

前回調査と比較すると、「特にできることはない」「買い物の代行」以外は少なくなっています。特に「話し相手」が 11.9 ポイント少なくなっています。

■前回調査との経年比較



■ ご近所に困っている人がいる時にできること（年齢別）

年齢別にみると、『90歳以上』を除き「安否確認の声かけ」が高くなっています。次いで、「話し相手」や、『20歳代』から『50歳代』までは「玄関前の掃除や除雪」、『50歳代』から『70歳代』までは「ごみ出し」、「買い物の代行」、『60歳代』『70歳代』では「いざという時の緊急連絡先」、『50歳代』『60歳代』では「災害避難時の付き添い」も多く挙げられています。

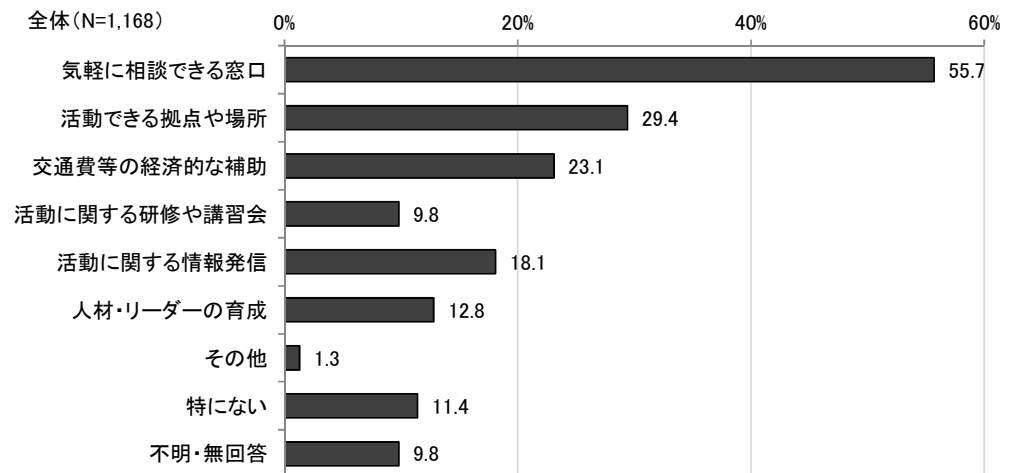
上段:件数 下段:%			安否確認の 声かけ	話し相手	ごみ出し	玄関前の掃 除や除雪	ちょっとした 家事	買い物の代 行	買い物や通 院等の付き 添い
年 齢 別	全体	N=1,168	690 59.1	437 37.4	259 22.2	281 24.1	107 9.2	222 19.0	105 9.0
	20歳代	N=76	37 48.7	31 40.8	13 17.1	25 32.9	4 5.3	10 13.2	3 3.9
	30歳代	N=113	62 54.9	46 40.7	20 17.7	31 27.4	10 8.8	20 17.7	10 8.8
	40歳代	N=138	81 58.7	35 25.4	25 18.1	44 31.9	9 6.5	27 19.6	4 2.9
	50歳代	N=180	114 63.3	64 35.6	53 29.4	55 30.6	22 12.2	43 23.9	14 7.8
	60歳代	N=228	161 70.6	85 37.3	62 27.2	60 26.3	29 12.7	52 22.8	27 11.8
	70歳代	N=212	137 64.6	91 42.9	57 26.9	43 20.3	23 10.8	50 23.6	28 13.2
	80歳代	N=152	72 47.4	64 42.1	19 12.5	15 9.9	6 3.9	11 7.2	11 7.2
	90歳以上	N=39	11 28.2	10 25.6	4 10.3	2 5.1	－ －	3 7.7	3 7.7
	不明・無回答	N=30	15 50.0	11 36.7	6 20.0	6 20.0	4 13.3	6 20.0	5 16.7

上段:件数 下段:%			短時間の子 どもの預かり	いざという時 の緊急連絡 先	災害避難時 の付き添い	その他	特にできるこ とはない	不明・無回答
年 齢 別	全体	N=1,168	92 7.9	217 18.6	192 16.4	14 1.2	142 12.2	73 6.3
	20歳代	N=76	5 6.6	8 10.5	10 13.2	1 1.3	9 11.8	2 2.6
	30歳代	N=113	17 15.0	10 8.8	21 18.6	1 0.9	14 12.4	4 3.5
	40歳代	N=138	14 10.1	18 13.0	26 18.8	1 0.7	19 13.8	4 2.9
	50歳代	N=180	15 8.3	31 17.2	41 22.8	5 2.8	11 6.1	7 3.9
	60歳代	N=228	23 10.1	61 26.8	47 20.6	2 0.9	18 7.9	12 5.3
	70歳代	N=212	10 4.7	56 26.4	30 14.2	3 1.4	20 9.4	18 8.5
	80歳代	N=152	3 2.0	21 13.8	12 7.9	1 0.7	34 22.4	15 9.9
	90歳以上	N=39	1 2.6	2 5.1	1 2.6	－ －	15 38.5	5 12.8
	不明・無回答	N=30	4 13.3	10 33.3	4 13.3	－ －	2 6.7	6 20.0

近所で困っている人を手助けするのに必要な支援

問 17 あなたが近所で困っている人に手助けをする場合に、どのような支援があれば手助けしやすいと思いますか。（3つまで○）

近所で困っている人を手助けする場合に、手助けをするための必要な支援についてみると、「気軽に相談できる窓口」が55.7%、「活動できる拠点や場所」が29.4%、「交通費等の経済的な補助」が23.1%と続いています。



■ ご近所で困っている人を手助けする場合に必要な支援（近所の困っている人にできること別）

近所の困っている人にできること別にみると、「特にできることはない」を除き、すべてにおいて「気軽に相談できる窓口」が高くなっています。また、「活動できる拠点や場所」については『買い物や通院等の付き添い』や『短時間の子どもの預かり』、「活動に関する研修や講習会」については『ちょっとした家事』や『買い物や通院等の付き添い』、「人材・リーダーの育成」については『災害避難時の付き添い』が全体よりも特に高くなっています。

上段:件数 下段:%			気軽に相談できる窓口	活動できる拠点や場所	交通費等の経済的な補助	活動に関する研修や講習会	活動に関する情報発信	人材・リーダーの育成	その他	特にない	不明・無回答
近所の困っている人にできること別	全体	N=1,168	651 55.7	343 29.4	270 23.1	115 9.8	211 18.1	150 12.8	15 1.3	133 11.4	114 9.8
	安否確認の声かけ	N=690	450 65.2	252 36.5	173 25.1	86 12.5	157 22.8	108 15.7	11 1.6	45 6.5	31 4.5
	話し相手	N=437	304 69.6	164 37.5	125 28.6	53 12.1	94 21.5	68 15.6	7 1.6	23 5.3	17 3.9
	ごみ出し	N=259	170 65.6	94 36.3	69 26.6	40 15.4	69 26.6	36 13.9	7 2.7	14 5.4	10 3.9
	玄関前の掃除や除雪	N=281	176 62.6	108 38.4	94 33.5	38 13.5	78 27.8	45 16.0	6 2.1	11 3.9	9 3.2
	ちょっとした家事	N=170	64 59.8	41 38.3	26 24.3	23 21.5	25 23.4	18 16.8	4 3.7	3 2.8	7 6.5
	買い物の代行	N=222	146 65.8	95 42.8	76 34.2	32 14.4	63 28.4	35 15.8	6 2.7	9 4.1	8 3.6
	買い物や通院等の付き添い	N=105	68 64.8	47 44.8	31 29.5	21 20.0	25 23.8	20 19.0	5 4.8	7 6.7	2 1.9
	短時間の子どもの預かり	N=92	60 65.2	41 44.6	32 34.8	14 15.2	23 25.0	16 17.4	4 4.3	3 3.3	-
	いざという時の緊急連絡先	N=217	148 68.2	88 40.6	64 29.5	32 14.7	47 21.7	43 19.8	5 2.3	7 3.2	11 5.1
	災害避難時の付き添い	N=192	117 60.9	74 38.5	52 27.1	31 16.1	56 29.2	40 20.8	3 1.6	11 5.7	11 5.7
	その他	N=14	7 50.0	3 21.4	5 35.7	1 7.1	2 14.3	2 14.3	3 21.4	2 14.3	-
	特にできることはない	N=142	37 26.1	13 9.2	22 15.5	8 5.6	10 7.0	11 7.7	1 0.7	65 45.8	13 9.2
	不明・無回答	N=73	2 2.7	3 4.1	2 2.7	1 1.4	1 1.4	1 1.4	1 1.4	2 2.7	63 86.3

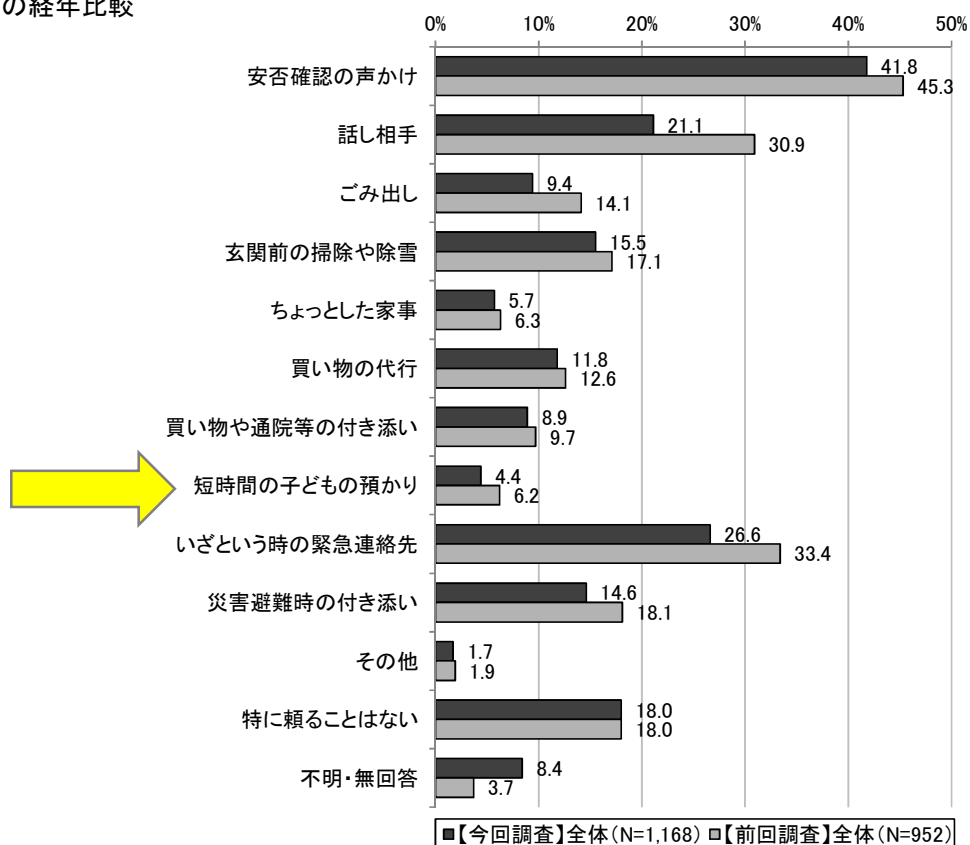
自分が困っている時に近所の人に頼りたいこと

問 18 あなたが困った時、ご近所に頼りたいことは、どのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

困った時、近所に頼りたいことについてみると、「安否確認の声かけ」が 41.8%、「いざという時の緊急連絡先」が 26.6%、「話し相手」が 21.1%と続いています。

前回調査と比較すると、「特に頼ることはない」以外は少なくなっています。特に「話し相手」は 9.8ポイント少なくなっています。

■前回調査との経年比較



■困った時、ご近所に頼りたいこと（年齢別）

年齢別にみると、すべてにおいて「安否確認の声かけ」が高くなっています。また、『20歳代』では「玄関前の掃除や除雪」と「いざという時の緊急連絡先」、『30歳代』では「短時間の子どもの預かり」、『40歳代』から『70歳代』までは「いざという時の緊急連絡先」、『80歳代』『90歳以上』では「話し相手」も多く挙げられています。

上段:件数 下段:%			安否確認の 声かけ	話し相手	ごみ出し	玄関前の掃 除や除雪	ちょっとした 家事	買い物の代 行	買い物や通 院等の付き 添い
年 齢 別	全体	N=1,168	488 41.8	247 21.1	110 9.4	181 15.5	66 5.7	138 11.8	104 8.9
	20歳代	N=76	25 32.9	12 15.8	4 5.3	17 22.4	2 2.6	2 2.6	4 5.3
	30歳代	N=113	41 36.3	14 12.4	2 1.8	15 13.3	5 4.4	9 8.0	3 2.7
	40歳代	N=138	56 40.6	15 10.9	5 3.6	15 10.9	8 5.8	12 8.7	6 4.3
	50歳代	N=180	73 40.6	28 15.6	16 8.9	26 14.4	8 4.4	19 10.6	14 7.8
	60歳代	N=228	91 39.9	44 19.3	23 10.1	40 17.5	15 6.6	24 10.5	26 11.4
	70歳代	N=212	99 46.7	70 33.0	29 13.7	31 14.6	16 7.5	42 19.8	24 11.3
	80歳代	N=152	75 49.3	51 33.6	24 15.8	25 16.4	9 5.9	25 16.4	21 13.8
	90歳以上	N=39	16 41.0	7 17.9	3 7.7	6 15.4	2 5.1	3 7.7	3 7.7
	不明・無回答	N=30	12 40.0	6 20.0	4 13.3	6 20.0	1 3.3	2 6.7	3 10.0

上段:件数 下段:%			短時間の子 どもの預かり	いざという時 の緊急連絡 先	災害避難時 の付き添い	その他	特に頼ること はない	不明・無回答
年 齢 別	全体	N=1,168	51 4.4	311 26.6	170 14.6	20 1.7	210 18.0	98 8.4
	20歳代	N=76	9 11.8	17 22.4	12 15.8	- -	17 22.4	2 2.6
	30歳代	N=113	23 20.4	14 12.4	12 10.6	1 0.9	27 23.9	7 6.2
	40歳代	N=138	10 7.2	33 23.9	17 12.3	5 3.6	29 21.0	5 3.6
	50歳代	N=180	4 2.2	43 23.9	24 13.3	3 1.7	43 23.9	8 4.4
	60歳代	N=228	2 0.9	64 28.1	29 12.7	5 2.2	42 18.4	23 10.1
	70歳代	N=212	1 0.5	74 34.9	36 17.0	4 1.9	24 11.3	24 11.3
	80歳代	N=152	- -	50 32.9	32 21.1	1 0.7	15 9.9	18 11.8
	90歳以上	N=39	1 2.6	6 15.4	3 7.7	1 2.6	7 17.9	6 15.4
	不明・無回答	N=30	1 3.3	10 33.3	5 16.7	- -	6 20.0	5 16.7

地域活動の参加経験

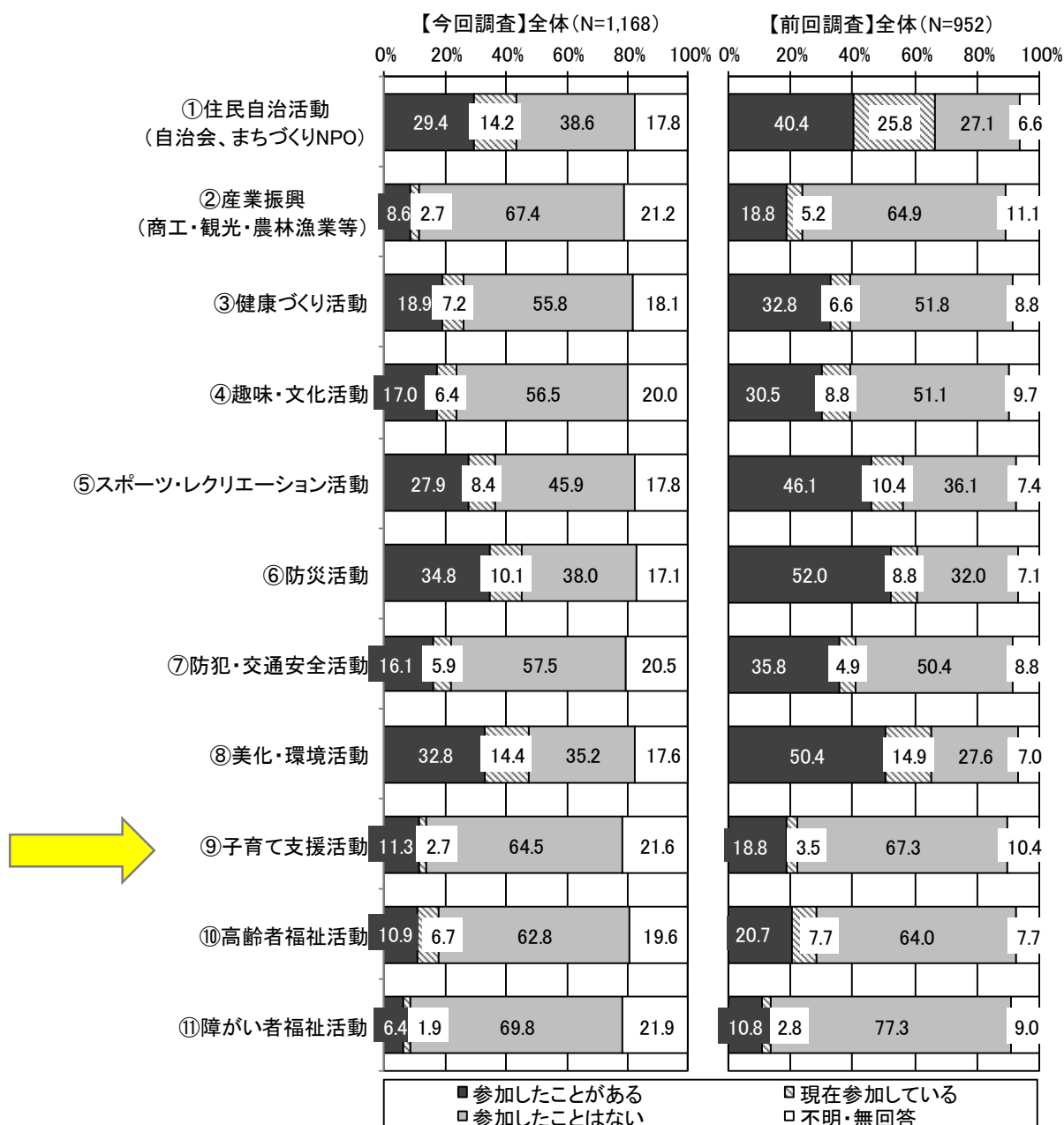
問 21 お住まいの地域で行われている次のような地域活動の中で、あなたがここ 1～2 年の間に参加したのがありますか。(1)～(12)のそれぞれの活動ごとに、①参加経験、②今後の参加意向について、あてはまるものを選んでください。(1つに○)

〔①参加経験〕

参加経験についてみると、【参加経験がある】(「参加したことがある」「現在参加している」の合計)では『⑧美化・環境活動』が 47.2%、『⑥防災活動』が 44.9%、『①住民自治活動』が 43.6%と続いています。

前回調査と比較すると、全ての項目で【参加経験がある】が少なくなっており、少子高齢化による参加者の減少や地域における関わりの希薄化の影響等がうかがえます。特に『①住民自治活動』が 22.6 ポイント、『⑤スポーツ・レクリエーション活動』が 20.2 ポイント少なくなっています。

■前回調査との経年比較



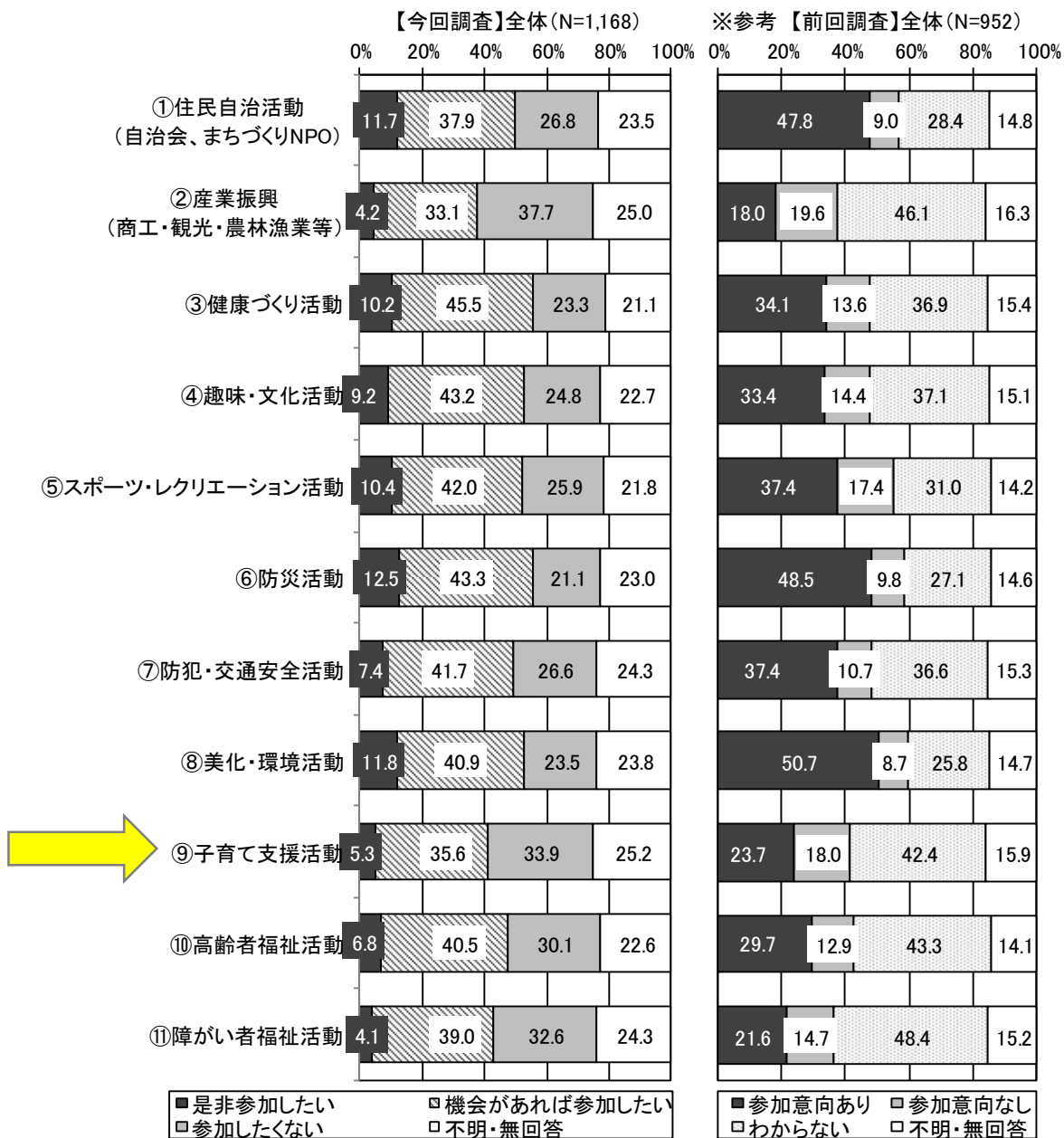
■ 近所に困っている人がいる時にできること（子育て支援活動の参加経験別）

子育て支援活動の参加経験別にみると、すべてにおいて「安否確認の声かけ」が高くなっており、「短時間の子どもの預かり」については『参加したことがある』『現在参加している』では全体よりも特に高くなっています。

上段:件数 下段:%			安否確認の 声かけ	話し相手	ごみ出し	玄関前の掃 除や除雪	ちょっとした 家事	買い物の代 行	買い物や通 院等の付き 添い
子育て支援活動の参加経験別	全体	N=1,168	690 59.1	437 37.4	259 22.2	281 24.1	107 9.2	222 19.0	105 9.0
	参加したことがある	N=132	92 69.7	63 47.7	40 30.3	38 28.8	27 20.5	38 28.8	16 12.1
	現在参加している	N=31	23 74.2	14 45.2	12 38.7	12 38.7	3 9.7	10 32.3	8 25.8
	参加したことはない	N=753	451 59.9	276 36.7	170 22.6	191 25.4	58 7.7	142 18.9	62 8.2
	不明・無回答	N=252	124 49.2	84 33.3	37 14.7	40 15.9	19 7.5	32 12.7	19 7.5
上段:件数 下段:%			短時間の子 どもの預かり	いざという時 の緊急連絡 先	災害避難時 の付き添い	その他	特にできるこ とはない	不明・無回答	
子育て支援活動の参加経験別	全体	N=1,168	92 7.9	217 18.6	192 16.4	14 1.2	142 12.2	73 6.3	
	参加したことがある	N=132	30 22.7	31 23.5	26 19.7	1 0.8	4 3.0	8 6.1	
	現在参加している	N=31	6 19.4	9 29.0	7 22.6	— —	— —	— —	
	参加したことはない	N=753	45 6.0	128 17.0	124 16.5	8 1.1	105 13.9	32 4.2	
	不明・無回答	N=252	11 4.4	49 19.4	35 13.9	5 2.0	33 13.1	33 13.1	

〔②今後の参加意向〕

今後の参加意向についてみると、【参加したい】（「是非参加したい」「機会があれば参加したい」の合計）では『⑥防災活動』が55.8%、『③健康づくり活動』が55.7%、『⑧美化・環境活動』が52.7%と続いています。



社会福祉協議会の事業についての認知状況

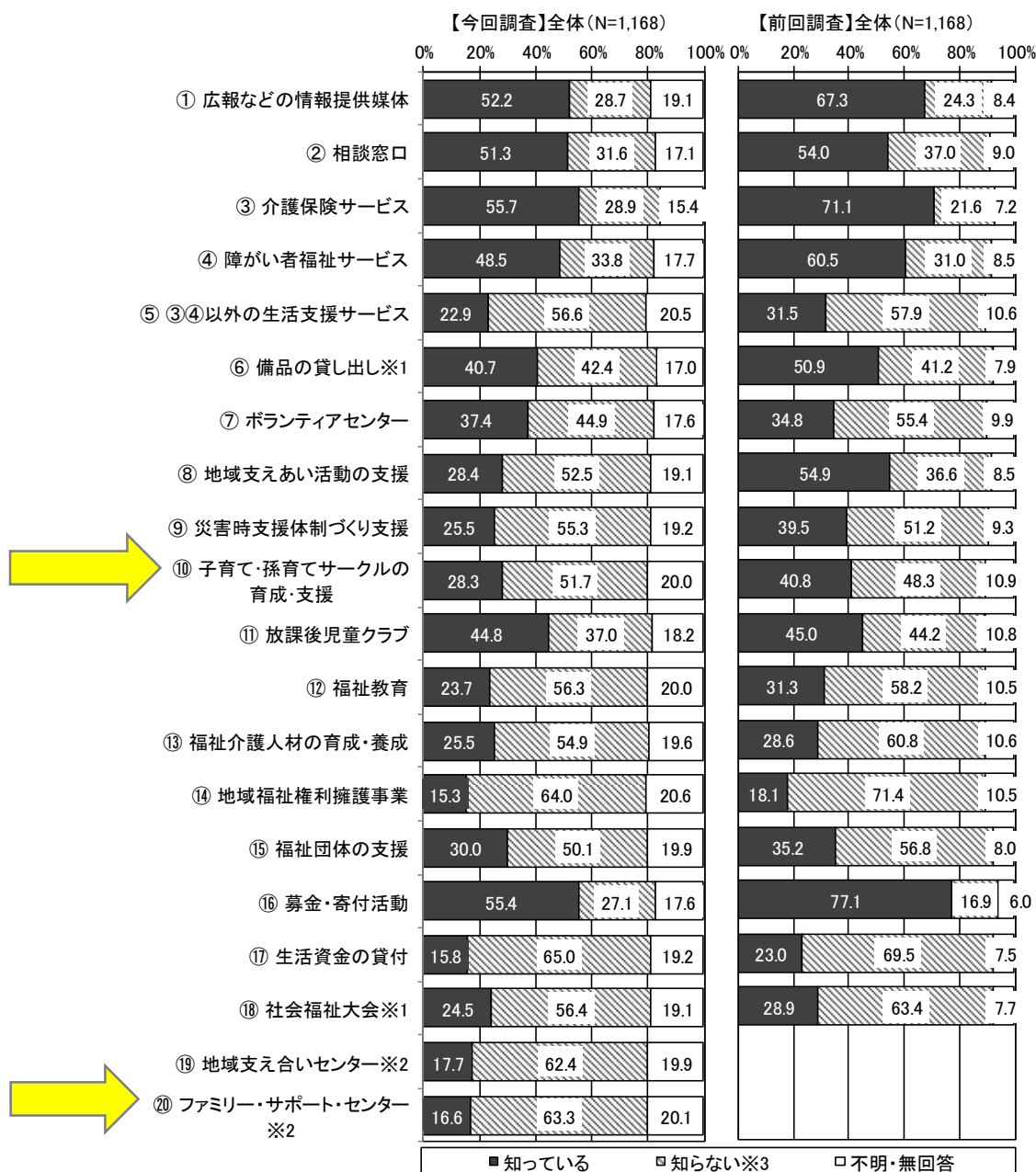
問 35 米原市社会福祉協議会が行っている事業について、あなたの①取組への認識と、②今後の充実への期待についてうかがいます。(1)～(21)について、あてはまるものを選んでください。(1つに○)

【①取組への認識】

取組への認識についてみると、「知っている」では『③介護保険サービス』が 55.7%、『⑯募金・寄付活動』が 55.4%、『①広報などの情報提供媒体』が 52.2%と続いています。

前回調査と比較すると、『⑦ボランティアセンター』以外は「知っている」が少なくなっています。

■前回調査との経年比較



※1 前回調査では「⑥福祉機器等の貸出」「⑱福祉イベント」

※2 前回調査では項目なし

※3 前回調査では「知らなかった」

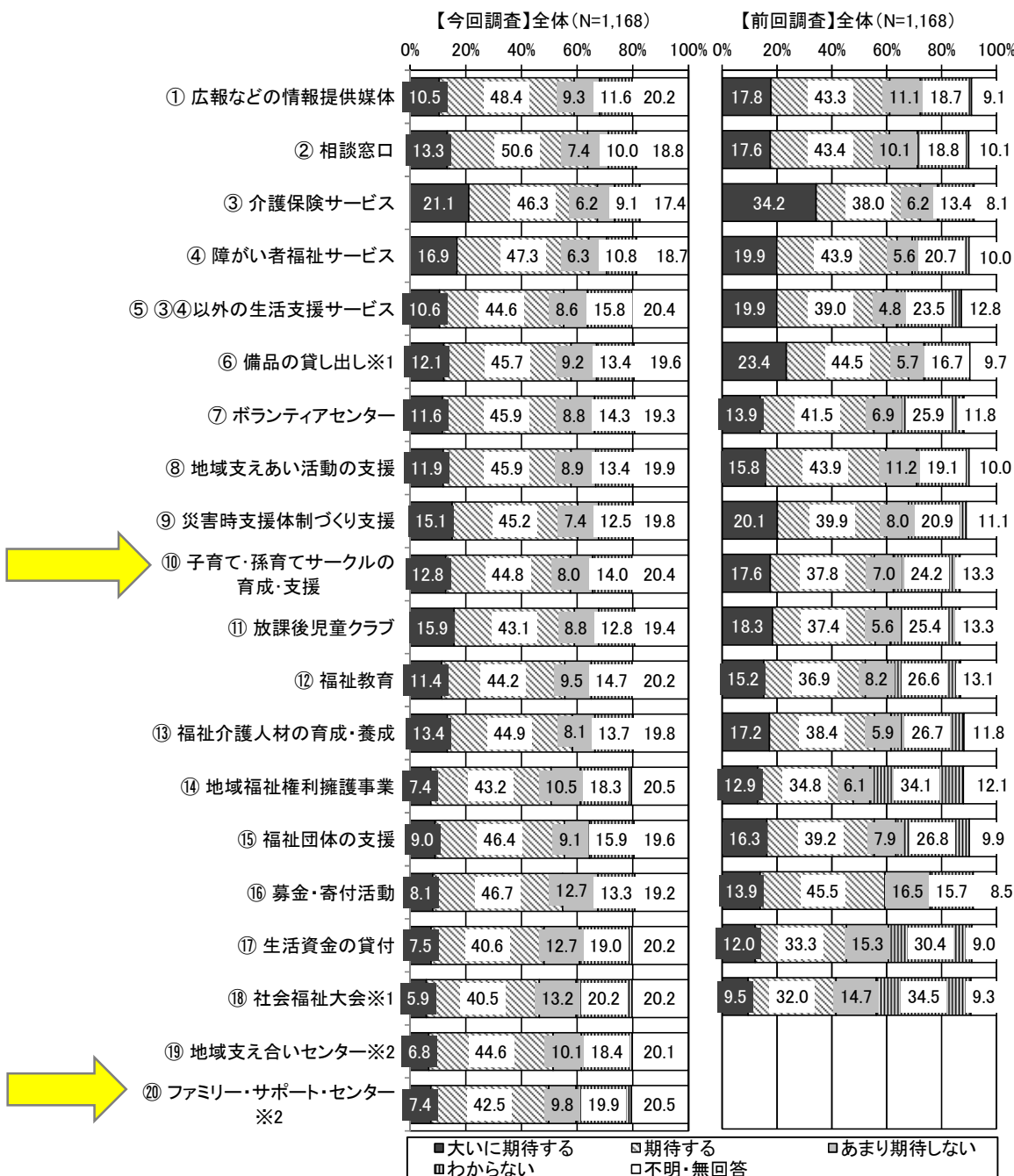
社会福祉協議会の事業に対する期待

【②今後の充実への期待】

今後の充実への期待についてみると、【期待】（「大いに期待する」「期待する」の合計）では『③介護保険サービス』が67.4%、『④障がい者福祉サービス』が64.2%、『②相談窓口』が63.9%と続いています。

前回調査と比較しても、あまり大きな差はみられません。

■前回調査との経年比較



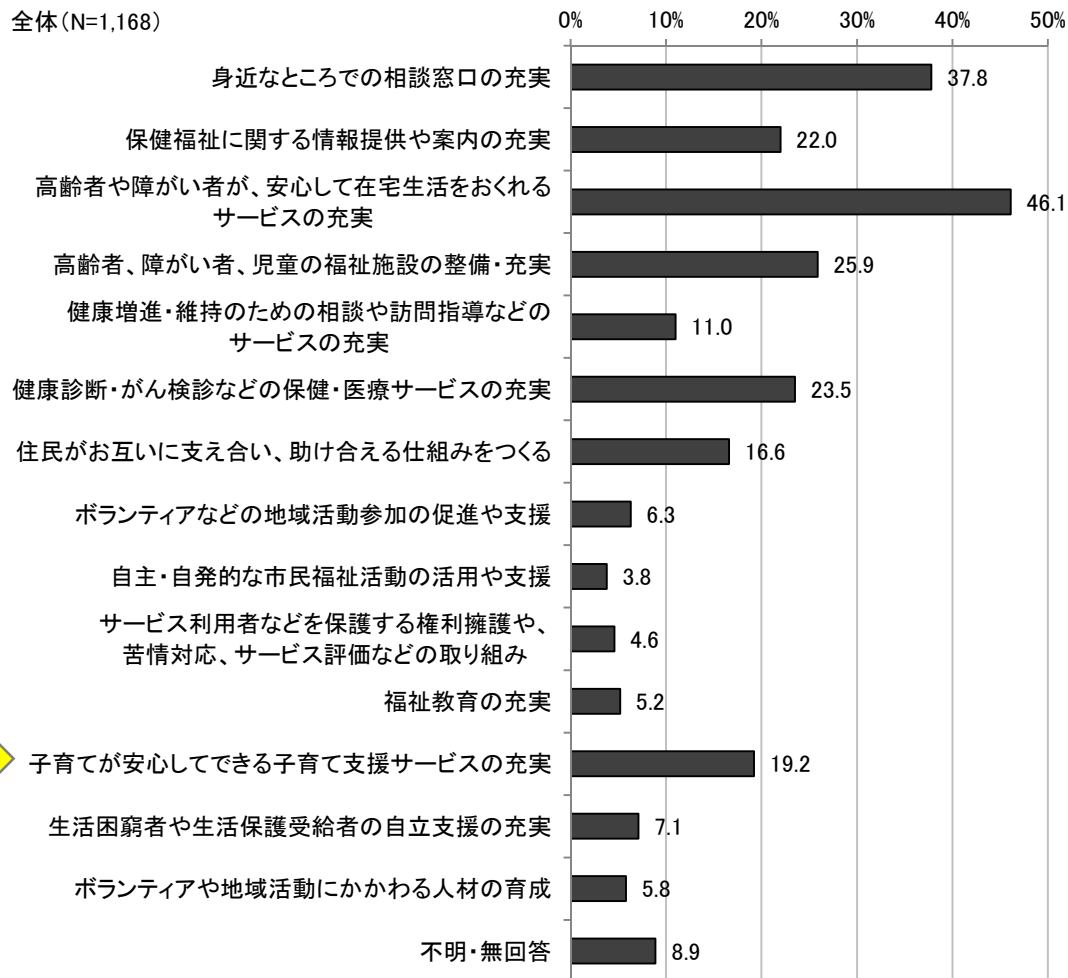
※1 前回調査では「⑥福祉機器等の貸出」「⑱福祉イベント」

※2 前回調査では項目なし

米原市が優先して取り組むべき施策

問 38 今後、米原市が健康や福祉を充実していくうえで取り組むべき施策として、どれを優先して充実すべきだと思いますか。（3つまで○）

健康や福祉を充実していくうえで優先して取り組むべき施策についてみると、「高齢者や障がい者が、安心して在宅生活をおくれるサービスの充実」が46.1%、「身近なところでの相談窓口の充実」が37.8%、「高齢者、障がい者、児童の福祉施設の整備・充実」が25.9%と続いています。



■健康や福祉を充実していくうえで取り組むべき施策（年齢別）

年齢別にみると、『20 歳代』『30 歳代』では「子育てが安心してできる子育て支援サービスの充実」、40 歳代以上では「高齢者や障がい者が、安心して在宅生活をおくれるサービスの充実」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%			身近なところでの相談窓口の充実	保健福祉に関する情報提供や案内の充実	高齢者や障がい者が、安心して在宅生活をおくれるサービスの充実	高齢者、障がい者、児童の福祉施設の整備・充実	健康増進・維持のための相談や訪問指導などのサービスの充実	健康診断・がん検診などの保健・医療サービスの充実	住民がお互いに支え合い、助け合える仕組みをつくる	ボランティアなどの地域活動参加の促進や支援
年齢別	全体	N=1,168	441 37.8	257 22.0	538 46.1	302 25.9	128 11.0	275 23.5	194 16.6	74 6.3
	20歳代	N=76	28 36.8	12 15.8	27 35.5	23 30.3	1 1.3	30 39.5	10 13.2	4 5.3
	30歳代	N=113	32 28.3	30 26.5	28 24.8	43 38.1	11 9.7	38 33.6	15 13.3	4 3.5
	40歳代	N=138	50 36.2	45 32.6	53 38.4	34 24.6	10 7.2	29 21.0	17 12.3	6 4.3
	50歳代	N=180	80 44.4	40 22.2	93 51.7	56 31.1	20 11.1	43 23.9	27 15.0	12 6.7
	60歳代	N=228	72 31.6	55 24.1	103 45.2	57 25.0	25 11.0	65 28.5	46 20.2	21 9.2
	70歳代	N=212	95 44.8	39 18.4	122 57.5	49 23.1	29 13.7	43 20.3	43 20.3	13 6.1
	80歳代	N=152	59 38.8	26 17.1	77 50.7	25 16.4	19 12.5	21 13.8	28 18.4	10 6.6
	90歳以上	N=39	11 28.2	6 15.4	22 56.4	6 15.4	9 23.1	2 5.1	6 15.4	2 5.1
	不明・無回答	N=30	14 46.7	4 13.3	13 43.3	9 30.0	4 13.3	4 13.3	2 6.7	2 6.7
上段:件数 下段:%			自主・自発的な市民福祉活動の活用や支援	サービス利用者などを保護する権利擁護や、苦情対応、サービス評価などの取り組み	福祉教育の充実	子育てが安心してできる子育て支援サービスの充実	生活困窮者や生活保護受給者の自立支援の充実	ボランティアや地域活動にかかわる人材の育成	その他	不明・無回答
年齢別	全体	N=1,168	44 3.8	54 4.6	61 5.2	224 19.2	83 7.1	68 5.8	14 1.2	104 8.9
	20歳代	N=76	4 5.3	5 6.6	6 7.9	32 42.1	8 10.5	-	1 1.3	2 2.6
	30歳代	N=113	5 4.4	4 3.5	6 5.3	55 48.7	3 2.7	3 2.7	2 1.8	6 5.3
	40歳代	N=138	3 2.2	5 3.6	14 10.1	46 33.3	14 10.1	6 4.3	2 1.4	9 6.5
	50歳代	N=180	9 5.0	8 4.4	7 3.9	29 16.1	11 6.1	16 8.9	2 1.1	5 2.8
	60歳代	N=228	11 4.8	10 4.4	14 6.1	34 14.9	17 7.5	17 7.5	1 0.4	16 7.0
	70歳代	N=212	5 2.4	13 6.1	8 3.8	16 7.5	14 6.6	10 4.7	5 2.4	20 9.4
	80歳代	N=152	6 3.9	7 4.6	4 2.6	7 4.6	9 5.9	11 7.2	1 0.7	32 21.1
	90歳以上	N=39	-	2 5.1	2 5.1	2 5.1	1 2.6	2 5.1	-	8 20.5
	不明・無回答	N=30	1 3.3	-	-	3 10.0	6 20.0	3 10.0	-	6 20.0

■健康や福祉を充実していくうえで取り組むべき施策（行政と地域住民の関係別）

行政と地域住民の関係別にみると、『福祉を充実する責任は行政にあるので、住民は特に協力することはない』では「身近なところでの相談窓口の充実」、『住民が福祉課題に積極的に取り組み、行政に頼るべきではない』では「保健福祉に関する情報提供や案内の充実」、それ以外では「高齢者や障がい者が、安心して在宅生活をおくれるサービスの充実」が高くなっています。

上段:件数 下段:%			身近なところでの 相談窓口の 充実	保健福祉に関 する情報提供 や案内の充実	高齢者や障が い者が、安心し て在宅生活をお くれるサービスの 充実	高齢者、障がい 者、児童の福祉 施設の整備・充 実	健康増進・維持 のための相談 や訪問指導な どのサービスの 充実	健康診断・がん 検診などの保 健・医療サービ スの充実	住民がお互い に支え合い、助 け合える仕組み をつくる	ボランティアな どの地域活動 参加の促進や 支援
行政と 地域 住民 の 関 係 別	全体	N=1,168	441 37.8	257 22.0	538 46.1	302 25.9	128 11.0	275 23.5	194 16.6	74 6.3
	福祉を充実する責任は行政(国や県、市町村)にあるので、住民は特に協力することはない	N=86	43 50.0	20 23.3	40 46.5	30 34.9	2 2.3	26 30.2	5 5.8	3 3.5
	行政の手の届かない福祉課題については、住民が協力していくべきである	N=178	81 45.5	43 24.2	97 54.5	40 22.5	22 12.4	44 24.7	33 18.5	16 9.0
	福祉課題については、行政も住民も協力し合い、共に取り組むべきである	N=747	297 39.8	178 23.8	375 50.2	215 28.8	94 12.6	198 26.5	149 19.9	53 7.1
	住民が福祉課題に積極的に取り組み、行政に頼るべきではない	N=19	6 31.6	10 52.6	6 31.6	6 31.6	2 10.5	4 21.1	4 21.1	- -
	その他	N=15	2 13.3	2 13.3	4 26.7	3 20.0	1 6.7	2 13.3	1 6.7	- -
	不明・無回答	N=123	12 9.8	4 3.3	16 13.0	8 6.5	7 5.7	1 0.8	2 1.6	2 1.6
上段:件数 下段:%			自主・自発的な 市民福祉活動 の活用や支援	サービス利用 者などを保護す る権利擁護や、 苦情対応、サー ビス評価などの 取り組み	福祉教育の充 実	子育てが安心し てできる子育て 支援サービスの 充実	生活困窮者や 生活保護受給 者の自立支援 の充実	ボランティアや 地域活動にか かわる人材の 育成	その他	不明・無回答
行政と 地域 住民 の 関 係 別	全体	N=1,168	44 3.8	54 4.6	61 5.2	224 19.2	83 7.1	68 5.8	14 1.2	104 8.9
	福祉を充実する責任は行政(国や県、市町村)にあるので、住民は特に協力することはない	N=86	-	5 5.8	1 1.2	20 23.3	6 7.0	3 3.5	2 2.3	1 1.2
	行政の手の届かない福祉課題については、住民が協力していくべきである	N=178	9 5.1	3 1.7	10 5.6	30 16.9	9 5.1	15 8.4	1 0.6	1 0.6
	福祉課題については、行政も住民も協力し合い、共に取り組むべきである	N=747	34 4.6	42 5.6	48 6.4	171 22.9	62 8.3	43 5.8	6 0.8	6 0.8
	住民が福祉課題に積極的に取り組み、行政に頼るべきではない	N=19	1 5.3	1 5.3	1 5.3	1 5.3	3 15.8	2 10.5	-	-
	その他	N=15	-	2 13.3	1 6.7	1 6.7	1 6.7	2 13.3	5 33.3	1 6.7
	不明・無回答	N=123	-	1 0.8	-	1 0.8	2 1.6	3 2.4	-	95 77.2

ワークショップまとめ 【●:感じていること、困っていること ◎:身の回りの活動(取り組み)】

伊吹地域

【子ども子育て】

- 子どもの減少
- 児童の問題を知ることが難しい
- 若い住民が少なくなっている、ママ友を作りにくい
- 休日・夜間等の子どもの預け先
- 字や子ども会での当番活動(立ち番・パトロール)

◎読み聞かせ、子育てサークル、冒険・遊び場

◎子ども食堂、スクールガード

米原地域

【子ども子育て】

- 子どもの人数が減り、子どもに関する事業や交流の機会が少なくなった
 - 子供会が維持できず消滅した
 - 地域に子どもがいない(放課後、休日)
 - こども園、学童利用が増え、親子の時間が減少
 - 近所に子どもが増えてきて、活気が出てきた
 - 子どもの名前がわからない
 - 親の考え方(通常マナーが理解されない)
 - 母親が大変
 - こども食堂にもう少し子どもが増えたら
 - 朝ごはんを食べないで学校に行く子どもがいる
 - 登下校の安全問題。児童の登下校時の見守りの必要性を強く感じる
 - 交通量により学童の安全面で心配
 - 子どもが安心して遊べる環境が少ない
 - 子ども達にやんちゃが多い(米小)
 - 小・中学校の教育助成金を自治会や各戸にお願いするのは問題
 - こども食堂のスタッフをどのように確保するのが課題
 - (危険な場所)筑摩にはハス沼川が村の中にあり、それに対して安全表示、看板、柵が必要
- ◎子ども食堂、あいさつ運動
- ◎子どもや若い世帯との交流
- ◎スポーツ少年団スタッフとしてのボランティア
- ◎ファミサポ、学童クラブ、学習支援

近江地域

【子ども子育て】

- 少子化で子ども同士遊ぶ機会がない、地域（近所）で遊ぶ姿が見られない
 - 地域に子どもがいない（みんな学童に行っている）
 - 地域の子どもの数が減少し、子ども会の運営が困難、PTA活動が忙しい
 - 子ども会は年2～3回の活動しかないありがたい
 - 近くに育児のことで相談する人や子どもを見てくれる人がいない
 - 近くに頼れる人がおらず、母親の育児負担が大きい
- ◎子ども食堂、子育てサークル・双子子育てサークル
- ◎子ども会活動、登下校の見守り、社協のファミリーサポート制度

山東地域

【子ども子育て】

- 子どもの宿題、休み期間の昼食、子どもの貧困問題、不登校
 - 登校する道の途中で人気がなくちょっと怖そう、子どもに関する事件の多発
 - 子どもが少なく、親同士がつながりにくい（子ども会）
 - 子どもがあまり外で遊ばない、子どもの遊び場が少ない
 - 放課後児童クラブの利用者が増加、毎日の学童の見守り
 - 学童に行く子どもが多く、身近で一緒に遊べる子どもがいない
 - 休日でも子どもの声を聞かない。子ども同士の交流がほとんどない
 - 子どもが少なく公民館、広場で遊ばせる時は必ず大人が付き添っている
 - 子ども達にこちらからあいさつすれば返ってくるがはっきり聞こえない
 - 習い事に行くにも市外になる
- ◎子育ての相談、子育て支援のお手伝い、親同士のつながりを図る
- ◎スクールガード・登下校のあいさつ、スポーツ少年団のボランティア
- ◎幼児対象のイベント・子ども食堂・子ども向けサロンの開催
- ◎地域の子どもと高齢者が集うイベント（花火大会・新入生歓迎会）